

各位

上場会社名 株式会社トランスジェニック  
 代表者 代表取締役社長 福永 健司  
 (コード番号 2342)  
 問合せ先責任者 取締役 経理財務部長 山本 健一  
 (TEL 092-288-8470)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14付けで公表した平成28年3月期通期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,150	40	35	18	1.29
今回修正予想(B)	2,290	50	18	14	1.05
増減額(B-A)	140	10	△17	△4	
増減率(%)	6.5	25.0	△48.6	△22.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	1,958	23	9	17	1.29

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	510	△78	△61	△4.39
今回修正予想(B)	565	△64	△30	△2.18
増減額(B-A)	55	14	31	
増減率(%)	10.8	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	552	△80	△51	△3.72

修正の理由

(連結)

平成28年3月期は、前期に達成した上場来初の営業損益の黒字化を定着させ、さらなる強固な体質とするため、グループ事業間シナジー創出に取り組んでまいりました。

上記の結果、売上高につきましては、グループの各セグメントの業績もほぼ計画通りに進み、期初発表予想を上回る見通しとなりました。

また、営業利益につきましては、新規事業の個人向け遺伝子解析サービスが想定を大きく下回る営業成績であったにもかかわらず、既存事業の好調により期初発表予想を上回る見通しとなりました。

一方、当期持分法適用会社とした医化学創薬株式会社(抗体医薬開発事業)における持分法損失の計上及び今後の当社グループの更なる飛躍に向けたM&A資金の調達費用の計上により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は期初発表予想を下回る見通しとなりました。

(個別)

売上高が計画を上回って推移した結果、売上高は期初発表予想を上回る見通しとなり、売上高の好調によりM&A資金の調達費用を吸収し経常損失、当期純損失につきましても期初発表予想に比べ赤字幅圧縮の見通しとなりました。

以上